

保証時報

2022
vol.736

11

CONTENTS

P.01 >> 信用保証協会ニュース

- ・「創業フェアひょうご2022.10」を開催しました
- ・甲南大学の学生向けに講義を行いました
- ・当協会のSDGsトピックス
 - ・健康企業宣言を行いました
 - ・兵庫県が初めて発行した「兵庫県SDGs債(グリーンボンド)」を購入しました
- ・近畿経済産業局、兵庫県中小企業活性化協議会及び当協会の3者間で「中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援に向けた連携協定」を締結しました
- ・「第10回北はりまビジネスフェア」に出展しました
- ・当協会後援イベント「神戸大学経済経営研究所シンポジウム」開催のお知らせ
- ・景気動向調査の結果をお知らせします

P.05 >> 金融機関インタビュー

P.06 >> ご当地いんぷお

P.07 >> フロンティア ひょうご クリップクリエイティブ株式会社

P.09 >> 保証状況



安泰山大國寺【丹波篠山市】 P6



「創業フェアひょうご2022.10」を開催しました

10月11日に、神戸市立中央区文化センターにて「創業フェアひょうご2022.10」を会場開催とWeb配信(Zoom)を併用したハイブリッド形式で開催しました。

本イベントは、創業予定の方や創業後概ね5年未満の方を対象とし、会場42名、Web14名の方に参加いただきました。

当日は、(株)グリップインターナショナル 代表取締役 桑田 隆晴さんによる基調講演のほか、(株)Compass 代表取締役CEO 大津 愛さんと(株)シラタキカク 代表取締役 白田 和茂さんによるトークセッションや当協会から中小企業者のためのSDGs・創業を支援する保証制度等の説明、中小企業診断士による創業ミニセミナー、金融機関や支援機関から創業支援の情報を幅広く紹介する創業サロン、会場参加者同士の交流会、中小企業診断士への個別相談などを実施しました。

参加者からは「既に創業されている方のお話など、有益な情報を聞くことができ、モチベーションが上がりました」「とても良いセミナーでした。また機会があれば参加させていただきます」などのご好評の声をいただきました。



基調講演の様子



トークセッションの様子



当協会からの説明の様子



創業ミニセミナーの様子



中小企業診断士との個別相談の様子

動画配信

配信期間 10月27日(木)～11月17日(木)

「創業フェアひょうご2022.10」の動画をホームページに掲載しています。
当日参加できなかった方やもう一度見たい方は、ぜひご覧ください。



甲南大学の学生向けに講義を行いました

10月25日、将来、起業を志す学生の方にそのノウハウを習得していただくことを目的として、甲南大学の学生向けに講義を行いました。

当日は、経営学部学生14名が参加し、事業の創出や資金調達方法、各種支援策等について当協会職員が説明を行った後、収支計画の策定を体験してもらいました。

当協会では、引き続き、学生向け講座を積極的に行い、若い世代の創業に関する理解と関心を深める取組を進めていきます。



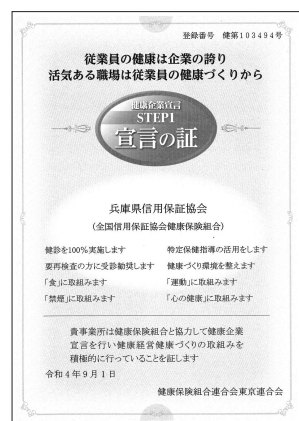
当協会の SDGs トピックス

● 健康企業宣言を行いました

当協会では、職員一人ひとりが健康に対する意識を高め、活気ある職場環境を醸成することを目的として、令和4年9月1日付で「健康企業宣言 ※」を行いました。

これまでの取組に加え、健康測定器（血圧計）の設置や健康啓発研修の実施、社内ウォーキングイベントの開催などにより、より一層、職員の健康に対する意識向上および健康経営への取組増進を図っていきます。

本取組がSDGs達成に
繋がるゴール



※健康企業宣言とは、健康づくりに取組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合には健康優良企業として認定される制度です。

● 兵庫県が初めて発行した「兵庫県SDGs債（グリーンボンド）」を購入しました

環境問題の解決に貢献する債券「兵庫県SDGs債（グリーンボンド）」を兵庫県が9月20日に初めて発行し、当協会では、その内、1億円を購入しました。

引き続き、当協会では、SDGsの取組の一環として、「グリーンボンド」の購入を検討していきます。

本取組がSDGs達成に繋がるゴール



近畿経済産業局、兵庫県中小企業活性化協議会及び当協会の3者間で

「中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援に向けた連携協定」
を締結しました

当協会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響等に苦しむ中小企業・小規模事業者の皆さまの収益力改善・事業再生・再チャレンジを促進するにあたり、連携を一層強化するため、近畿経済産業局、兵庫県中小企業活性化協議会と9月9日付で、「中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援に向けた連携協定」を締結しました。

今回の連携協定締結により、3者間で以下のような取組を進めてまいります。

- ・ 連携深化の前提としての対話と支援対象・内容の共有
- ・ 当協会を起点とした兵庫県中小企業活性化協議会との連携（プッシュ型経営支援）
- ・ 兵庫県中小企業活性化協議会を起点とした当協会との連携
- ・ 近畿経済産業局を起点とした兵庫県中小企業活性化協議会・当協会との連携
- ・ 中小企業及び経営者個人の破産回避に向けた積極的な連携
- ・ 外部意見を積極的に取り入れた更なる質向上の取組



左から早金理事長（当協会）、原田産業部長（近畿経済産業局）、野田統括責任者（兵庫県中小企業活性化協議会）

「第10回北はりまビジネスフェア」に出展しました

10月21日、22日、23日の3日間にわたり、小野市うるおい交流館エクラにおいて、「第10回北はりまビジネスフェア」が開催されました。当協会の出展ブースでは、多くの方に信用保証協会を知っていただくため、信用保証のしくみや各種保証制度の紹介を行い、多数の方にお立ち寄りいただきました。



蓬萊小野市長（中央）が立ち寄られました

当協会
後援イベント

『神戸大学経済経営研究所シンポジウム』

開催のお知らせ

令和4年

日時

12月7日（水）

開催方式

オンライン開催（Zoomを利用）

テーマ

地域金融機関による地域中小企業支援の新しい展開
～ 金融機関による人材マッチングの現状と課題 ～

主催

神戸大学経済経営研究所、神戸大学社会システムイノベーションセンター

後援

兵庫県信用保証協会、近畿財務局、一般財団法人アジア太平洋研究所、
一般社団法人大阪銀行協会、神戸商工会議所、信金中央金庫

定員

300名様
（事前登録制）

参加費
無料

本シンポジウムの詳細の確認および参加を希望する方は、右のQRコードからご確認ください。

お問合せ窓口

神戸大学経済経営研究所《公開シンポジウム》担当

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1

E-mail : sympo@rieb.kobe-u.ac.jp

お電話でのお申し込み、お問い合わせはご遠慮ください。



景気動向調査の結果をお知らせします ～先行きは、改善の兆しが見られる～

令和4年9月の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

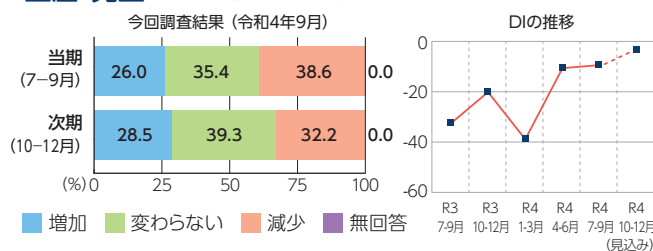
調査要領

- ① 調査時点：令和4年9月
② 調査方法：無記名、Web方式
③ 調査対象：3,000事業者
④ 有効回答数：435 (回答率14.5%)

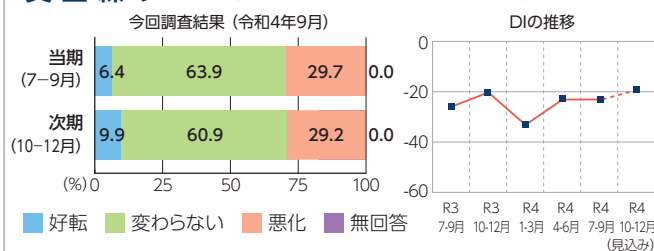
※ 本調査は四半期ごとに当協会の保証利用企業を対象に実施しています。

現在と今後の景況、借入難易感について

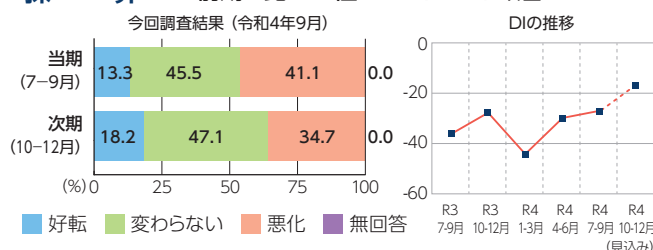
生産・売上 前期に比べDI値は0.6ポイント改善



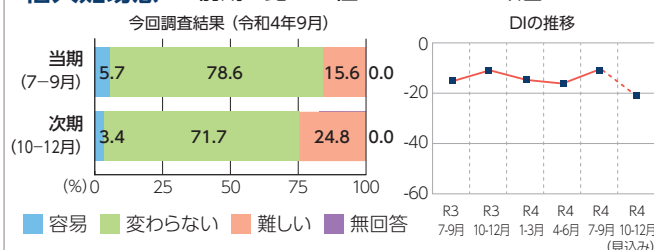
資金繰り 前期に比べDI値は0.2ポイント悪化



採算 前期に比べDI値は2.5ポイント改善



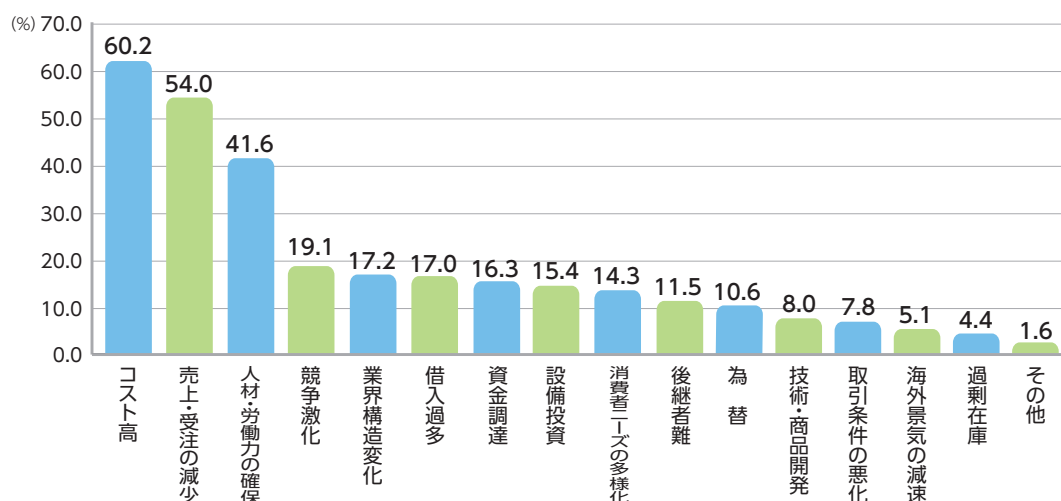
借入難易感 前期に比べDI値は5.4ポイント改善



当期（7-9月）のDI値については、前期（4-6月）に比べ、「生産・売上」「採算」「借入難易感」の項目において改善し、「資金繰り」の項目において悪化しました。

次期（10-12月）のDI値については、当期（7-9月）に比べ、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

経営上の課題 （複数回答）



経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が上位となっています。次いで、「競争激化」「業界構造変化」「借入過多」の順となっています。

景気動向調査にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた結果を踏まえ、信用保証制度の適切な運営に取組んでまいります。なお、調査内容の詳細につきましては、当協会のホームページにて公表しています。

ホームページアドレス <https://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp>

※ 構成比の数値は、小数点第2位を四捨五入したものです。そのため、個々の構成比の合計が100%にならない場合があります。



淡路信用金庫 志筑支店

〒656-2131
淡路市志筑3117-12
☎ 0799-62-0036



淡路信用金庫
志筑支店
支店長

森口 敦司 様

志筑は、淡路市の中心地であり、市役所、大型商業施設や各種企業が集積しているエリアです。数年前、人材派遣を担う大手企業が淡路島に本拠地を移したことで大いに話題になりましたが、同企業のオフィスは志筑にあり、多くの社員が志筑の近隣に移住しています。大手企業の進出で活気にあふれている志筑ですが、以前から島内の人にとっては「商売を始めるなら志筑で」と捉えられているエリアで、人が人を呼ぶ街というイメージがあると言っても過言ではありません。



貴店のモットーを教えてください。

志筑支店は「顧客のファーストコールバンクになる」をモットーとして掲げています。これは、淡路信用金庫の「地域経済の発展と顧客の繁栄に尽力する」という経営方針を具現化するためのものです。これは、どんなことでも淡路信用金庫の志筑支店に相談しようとお客様に思っていたいく存在になるということです。



貴店の強みを教えてください。

当支店の職員は21名で、ほとんどが経験豊かなベテランであるということが強みです。経験、気力、体力に優れ、お客様の課題を引き出すことにも長けています。志筑支店の法人の取引先は、製造業、小売業、飲食業など多岐にわたっているのですが、抜群の対応力でお客様に喜んでいただいています。



保証付き融資を推進する際に、活用している商品を教えてください。

現在、最も活用しているのは「伴走支援型特別保証制度」です。この商品は、実行している融資を一本化して保証料率が下がるなどお客様にとって大きな魅力があるため人気です。次いで「飛躍」も活用する機会が多いように思います。



今後の展開について教えてください。

コロナ禍で、お客様との面談の機会が少なくなりニーズの把握が難しくなったと感じます。とはいえ信用金庫は、お客様の身近な存在であることが一番の魅力です。このような状況だからこそ、電話であってもFace to Faceで話をしているかのように思ってもらえるような親身な対応と、かゆいところに手が届く提案が大切です。職員一丸となって、親身な対応と気の利いた提案に積極的に取り組み、「ファーストコールバンク」としての存在感を発揮したいと思います。



丹波篠山市



篠山城

徳川家康の命で築城された
天下普請の城



篠山城が築城されたのは慶長14年(1609年)のことでした。築城のきっかけは、関ヶ原の合戦後、徳川家康が大坂城の豊臣秀頼の存在を警戒したためとされています。家康は、豊臣家を抑えるために、浅野幸長、蜂須賀至鎮、加藤嘉明、福島正則ら、豊臣家にゆかりのある大名を動員。池田輝政が総奉行を担い、15カ国、20の大名の夫役など総勢8万人が築城に従事し、わずか6ヶ月の短期間で完成しました。篠山城は天下普請の城として知られ、全国の多くの大名が工事に取り組みました。縄張りを担ったのは、築城の名手といわれる藤堂高虎でした。約260年にわたって篠山藩5万石(1827年に6万石に加増)の政治、経済、文化の拠点として役割を果たした篠山城ですが、明治維新後、城の中核であった大書院を除いて取り壊されました。残った大書院は、1944年に焼失しましたが、市民の願いで2000年に復元され、かつての風情を今に伝えています。



詳しくは
こちらから

丹波篠山観光協会

〒669-2332

丹波篠山市北新町97

TEL079-506-1535

<http://tourism.sasayama.jp/>



ちょっと 寄り道



ぼたん鍋

丹波篠山のぼたん鍋は、丹波栗や木の実を食べている天然の猪の肉を使用。コクがありながらもサッパリとした味わいで人気。



兵庫陶芸美術館

日本遺産に指定されている日本六古窯のひとつ「丹波焼」の名品や古陶磁、現代陶芸作品を展示しています。



ささやまの森公園

里山で自然に触れる文化、スポーツ、レクリエーションに親しむ場として2002年にオープンしました。

兵庫の歴史遺産



安泰山大國寺

燃えるような紅葉が美しい丹波篠山の古刹



大國寺は、大化年間の頃、空鉢仙人が国家安泰を祈願し、自作の薬師如来像を安置して開創されたと伝えられています。室町時代初期に中国を思わせる唐様と和洋の折衷様式の当時の最新の技法で建立された本堂は、1961年、国の重要文化財に指定されました。ご本尊の薬師如来坐像、大日如来坐像、阿弥陀如来坐像、持国天立像、増長天立像は藤原時代の傑作とされており、五体とも1922年に国の重要文化財に指定されています。四季折々の花が参拝者を迎える同寺院ですが、特に秋は、本堂と燃えるような紅葉のコントラストが美しい紅葉の名所として知られており、多くの参拝者で賑わいます。

安泰山大國寺

〒669-2223 丹波篠山市味間奥162

TEL079-594-0212

<http://sasayama-daikokuji.com/>

絞りたての生酒の美味しさを保つ 「ケグドラフトSake」で 日本酒の流通に革命を起こす。

起業の経緯と事業内容

日本酒の国内出荷量が、1973年を境に減少し続けている。このような状況でも、特定名称酒と呼ばれる吟醸酒、純米酒は堅調だった。ところがコロナ禍での自粛で外食産業が打撃を受け、特定名称酒の業務用の出荷も減少した。とはいえ海外での日本酒の需要はコロナ禍の影響を受けた2020年を除いて年々、増加している（2022年5月・農林水産省農産局調べ）。この社会情勢を商機ととらえ、日本酒を愛する心で立ち上がった人がある。渡邊 大氏がその人だ。

「起業前は物流の仕事をしていました。出張で海外に行き、現地で日本酒を飲むたびに『味が違う』と感じていました。日本酒は温度管理が難しく、空気に触れると酸化してしまうからなのですが、日本酒が海外で広がっているといっても、日本酒が好きな私としては納得できませんでした。2012年のある日、会社から物流の新企画を求められ、日本酒の真の美味しさを海外に広げるための物流を提案したところ採用されました」。

渡邊氏は、明石の酒蔵など3つの酒蔵の酒を香港で広げる取り組みを始めた。

「日本酒を空輸で運ぶのですが、朝、蔵元でビンに詰めた日本酒をカートに積んで機内に持ち込み、その日のうちに試飲会を開催して、日本酒の本当の美味しさを伝えたところ評判になりました。小ロットを空輸で運ぶため720mlが約1万円になりましたが、小ロットでの仕入れは魅力と、取り引きをしてくださるレストランが出てきました」。

DATA

クリップクリエイティブ
株式会社

代表取締役社長
渡邊 大氏



〒673-0892
明石市本町2-2-8
☎ 078-600-9490

起業と
どまん

FRONTIE
フロンティ

香港への日本酒輸出を始めて3年が経った2015年、「日本酒のグラス売りをしたい」という要望が出た。

「日本酒は、栓を開けると味が変わるのがネックです。グラス売りは難しいと悩んでいたときに、ビールの保存容器を手がける、オランダのライトウエイトコンテナーズに出会いました。同社が開発した容器『キーケグ』は、空気が入らない二重構造でビールの味が変わらないと評判を呼び、業界に革命を起こしました。これなら日本酒にも使えると考えました」。

ビール用容器は20L、30Lで、日本仕様の冷蔵庫には入らない。渡邊氏が現地に出向いて事情を伝えたところ、日本酒用に改良した10Lの「キーケグ10」が誕生した。

「この頃、社内で配置転換がありました。実は7年間、東京で単身赴任をしていたため、子どもが生まれたので明石に戻りたいという思いもあり、2015年、キーケグ10に詰めた絞りたての日本酒の輸出と国内販売を手がける個人事業主として独立しました。2017年には酒蔵と契約して、キーケグ10に詰

めた生酒を『ケグドラフトSake』と名付けて、通常、出荷している商品とは区別して広げる取り組みを始めました。この活動に手応えを感じ、2018年に法人化してクリップクリエイティブ株式会社を設立しました」。

飛躍のきっかけ

「ケグドラフトSake」は、一口飲めば美味しさの違いがすぐにわかる。イベントで試飲会をすると、日本酒が苦手という人が「こんなに美味しいとは」とファンになるほどだ。ところが

国内の飲食業界では「容器が日本酒らしくない」「味が変わらないというのが疑問」と言われ、思うように販路が広がらなかった。そんな状況が一変したのはコロナ禍だった。自粛で飲食店が営業できない期間が続き、栓を開けた日本酒の味が変わる事態になったのだ。ところが「ケグドラフトSake」の味だけは変わらなかった。この噂が飲食業界で広がり、問い合わせが殺到し、導入する店が一気に増えた。昨年4月には「ケグド



ラフトSake」が、料理人や食通が愛読する「あまから手帖」の特集記事になり、飲食店、酒蔵とも取り引きが急増した。

「良い流れに乗るために、2022年2月、オフィスの1階をショールームに改装しました。ここで試飲すると『美味しい!』と驚いてくださって、導入につながります」。

ショールーム開設と同時に、オリジナルのパウチ容器や専用容器を使った「ケグドラフトSake」の量り売りも始めた。「日本酒らしくない」が、好評を博している。

今後の展望

飲食店、酒蔵とも、取り引きに際しては、「ケグドラフトSake」の取り扱い条件を遵守する契約を交わす。

「『ケグドラフトSake』は、火入れしない絞りたてのフレッシュな生酒をすぐに詰めるから美味しいんです。店も、温度管理などのルールを守るから最高に美味しい状態で提供できます。このルールを守ってくださる蔵、店としか契約をしません」。

これまで同社の真似をしてキーケグの容器に、絞りたてではなく火入れをした日本酒を詰めて販売する会社が出てきたが、容器は同じでも味の違いで淘汰され撤退した。この状況を見て、「ケグドラフトSake」を商標登録し、ラベルを制作。酒の充填、冷蔵、サーブの仕組みについて特許を取得。さらに、美味しいと感じる理由を科学的に証明する研究にも取り組んでいる。

「現在、『ケグドラフトSake』として世に出ている銘柄は40種類。海外は、香港からシンガポールに広がり、今後はアメリカ、ドイツ、イギリスでの展開を視野に入れて試飲会を開催する予定です」。

経営の
なか!
RHYOGO
アひょうご

信用保証協会を利用して運転資金を確保しました

日本酒を充填する容器キーケグ等を仕入れるための資金として2021年11月、兵庫県融資制度「経営円滑化貸付(新型コロナウイルス対策危機対応貸付)」を利用しました。美味しさと長期貯蔵できる理由を科学的に証明するための研究資金にも充てています。これまでは「ケグドラフトSake」を広めるための準備の期間、これから本番と思っています。



詳しくは
こちらから



9月 保証状況

9月の
保証概況

(単位：件、百万円、%)

	当月中				当期中			
	件数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	金額	前年比
保証申込	2,056	100.7	35,909	109.9	10,862	106.6	181,975	113.5
保証承諾	1,917	99.3	32,142	107.9	9,955	90.3	161,191	91.9
保証債務残高	—	—	—	—	130,545	99.8	1,841,245	96.1
代位弁済(元利)	150	250.0	2,094	258.3	657	156.4	7,874	150.3
実際回収(元損)	—	—	345	116.1	—	—	2,554	108.5

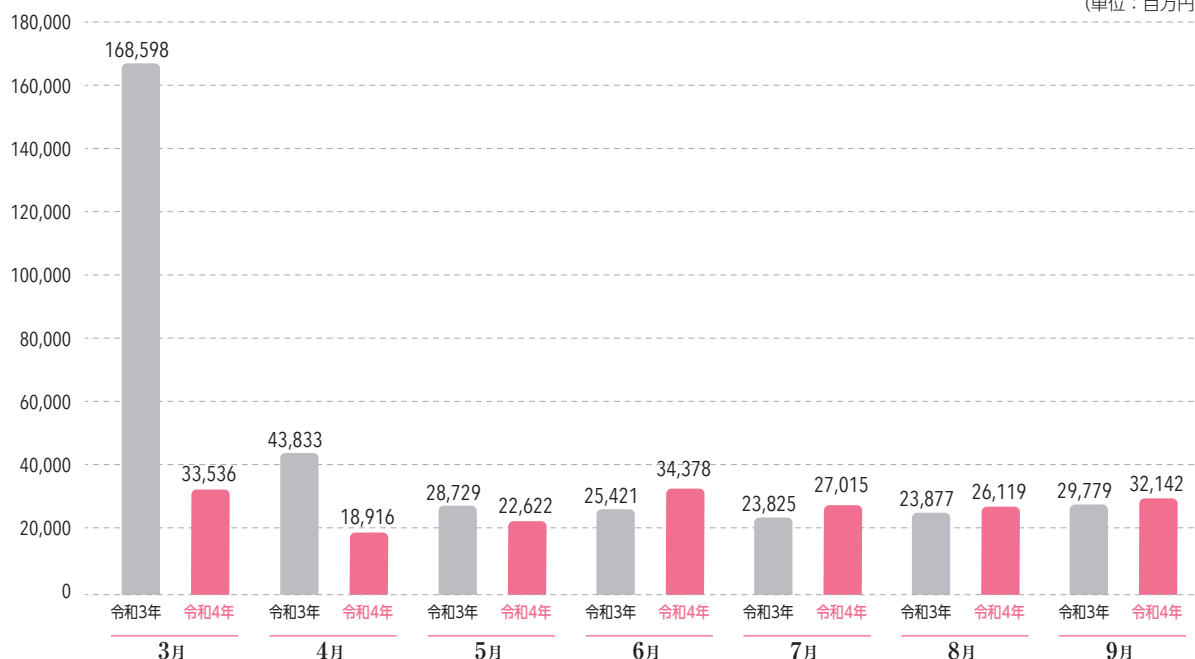
1 保証承諾

9月の保証承諾は1,917件(前年同月比0.7%減)、32,142百万円(同7.9%増)となり、前年同月と比べ、件数で13件下回り、金額で2,363百万円上回った。

また、保証申込は2,056件(同0.7%増)、35,909百万円(同9.9%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

保証承諾(前年比較)

(単位：百万円)



資金使途別

9月の保証承諾のうち、運転資金は30,387百万円(前年同月比8.2%増)、設備資金は704百万円(同8.4%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別

9月の業種別保証承諾の状況は、飲食店987百万円(前年同月比56.3%増)、運送・倉庫業1,935百万円(同30.7%増)、不動産業2,751百万円(同28.9%増)、サービス業4,957百万円(同25.1%増)、製造業5,695百万円(同21.8%増)等で前年同月を上回り、卸売業4,047百万円(同4.0%減)、小売業3,620百万円(同5.2%減)、建設業7,823百万円(同9.6%減)で前年同月を下回った。

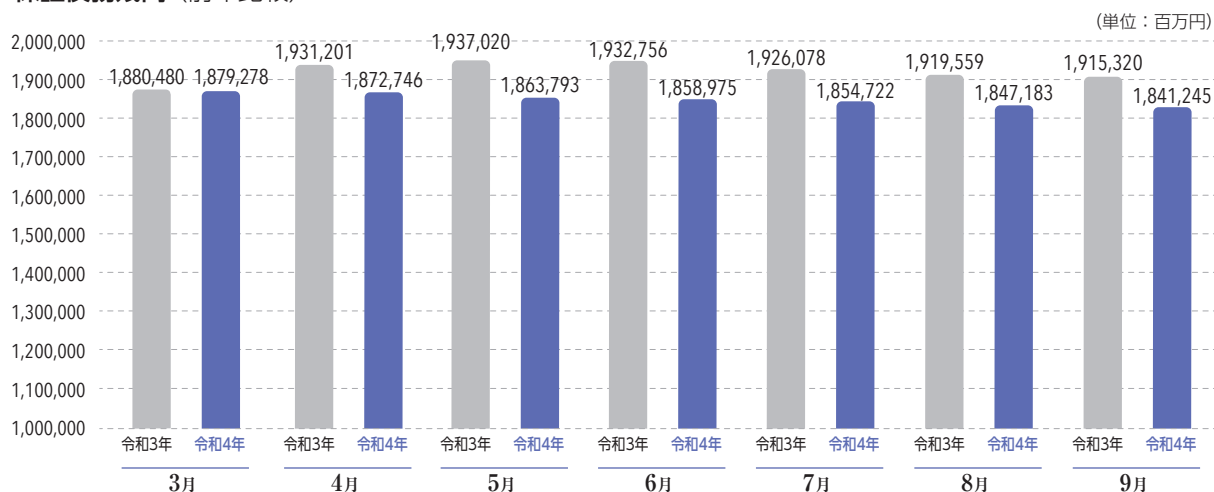
金融機関群別

9月の金融機関群別保証承諾の状況は、信用金庫21,789百万円(前年同月比17.0%増)、第二地方銀行4,662百万円(同8.2%増)で前年同月を上回り、地方銀行1,818百万円(同5.7%減)、信用組合3,305百万円(同18.6%減)、都市銀行567百万円(同33.6%減)で前年同月を下回った。

2 保証債務残高

9月末の保証債務残高は、130,545件（前年同月比0.2%減）、1,841,245百万円（同3.9%減）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

保証債務残高（前年比較）

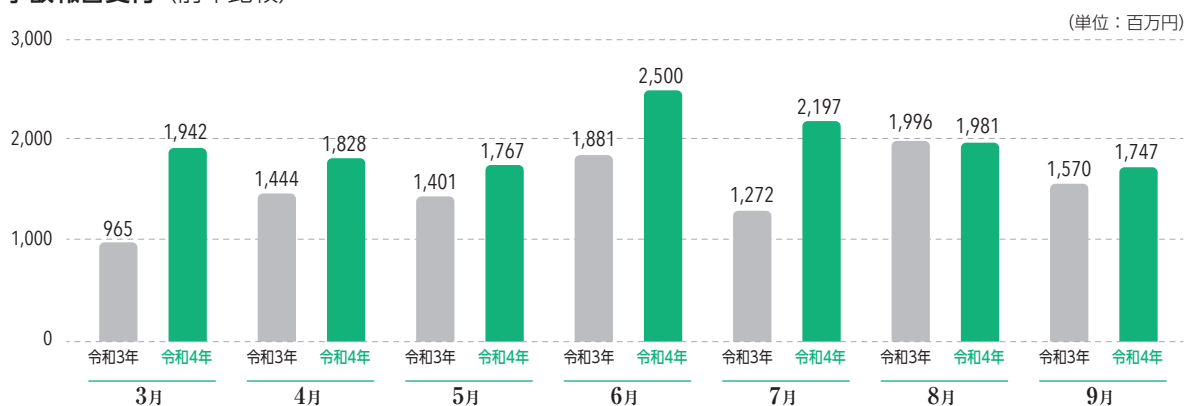


3 事故報告

9月の事故報告受付は、178件（前年同月比53.4%増）、1,747百万円（同11.3%増）となり、前年同月と比べ、件数は62件、金額は177百万円の増加となった。

事故報告残高については、9月末で713件（同24.9%増）、7,928百万円（同11.3%増）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

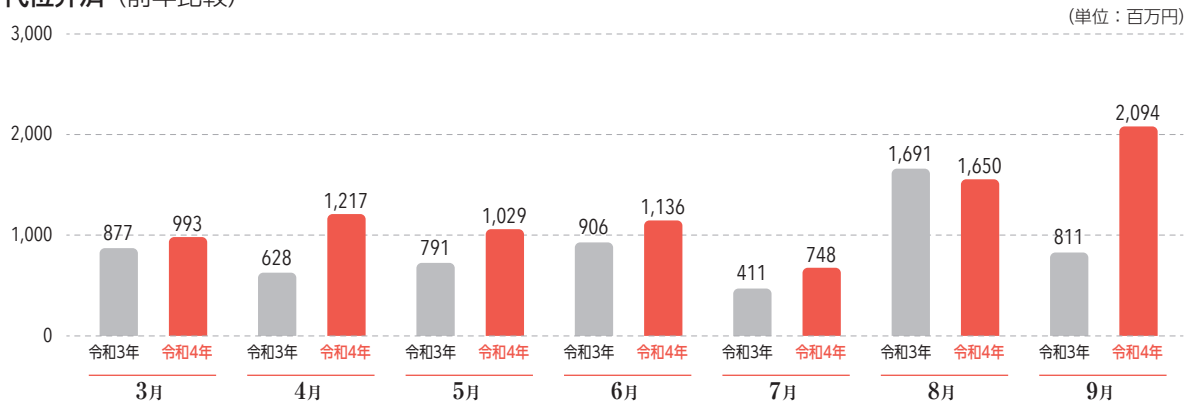
事故報告受付（前年比較）



4 代位弁済(元利)

9月の代位弁済は、150件（前年同月比150.0%増）、2,094百万円（同158.3%増）となり、前年同月と比べ、件数は90件、金額は1,284百万円の増加となった。

代位弁済（前年比較）



信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

- ① 資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。
特定非営利活動法人（NPO法人）の場合は、従業員数（製造業等：300人以下、卸売業・サービス業：100人以下、小売業・飲食業：50人以下）が該当していること。
- ② 個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。
法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。
- ③ 許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。
- ④ 事業上必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。
詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

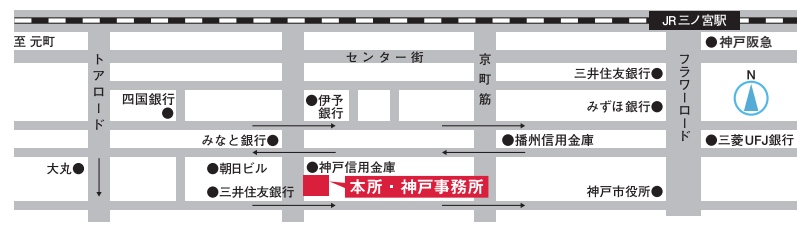
兵庫県信用保証協会のネットワーク

本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1

本 所：TEL 078-393-3900（代表）

神戸事務所：TEL 078-393-3909 [担当地域]神戸市

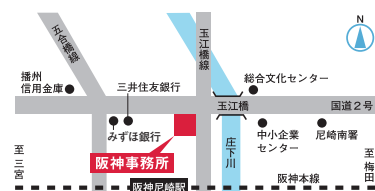


阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F

TEL 06-6411-4133（代表）

[担当地域] 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡

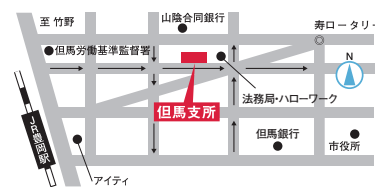


但馬支所

〒668-0024 豊岡市寿町8-7

TEL 0796-22-5171

[担当地域] 豊岡市、養父市、朝来市、美方郡

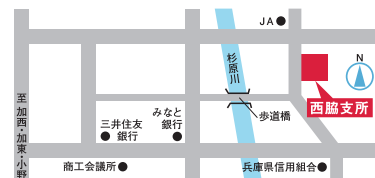


西脇支所

〒677-0015 西脇市西脇885-27

TEL 0795-22-6775

[担当地域] 西脇市、三木市、小野市、加西市、丹波篠山市、丹波市、加東市、多可郡



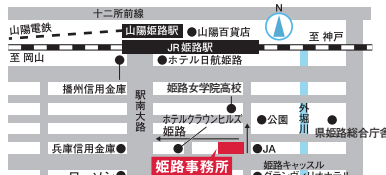
暴力団等の反社会的勢力とは取引いたしません。
第三者が介入・介入する申込はお断りします。

姫路事務所

〒670-0965 姫路市東延末3-27-2

TEL 079-289-3611

[担当地域] 姫路市、相生市、赤穂市、粟粟市、たつの市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡

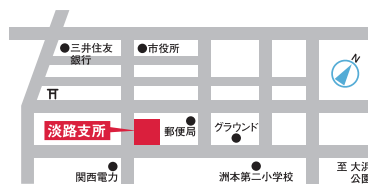


淡路支所

〒656-0025 洲本市本町3-1-8

TEL 0799-22-4493

[担当地域] 洲本市、南あわじ市、淡路市

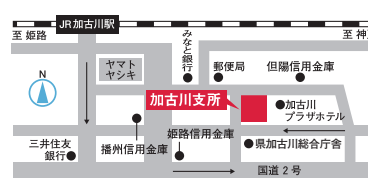


加古川支所

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口788

TEL 079-424-1105

[担当地域] 明石市、加古川市、高砂市、加古郡



業 種	資本金	従業員数
製造業等 ※1	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業 ※2	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業 情報処理サービス業	3億円以下	300人以下
旅館業	5,000万円以下	200人以下
医療法人等	—	300人以下

※1 建設業、運送業、不動産業、旅行業を含みます。

※2 自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

お客様総合相談室

本 所	寺 口 室 長	TEL 078-393-3905
	平 松 次 長	

本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本 所 経 営 支 援 部	北 野 副 部 長	TEL 078-393-3920
神 戸 事 務 所	嶋 田 副 所 長 (保証相談一課、二課、三課)	TEL 078-393-3909
	奥 田 副 所 長 (調整相談一課、二課)	TEL 078-393-3915
阪 神 事 務 所	大 禮 副 所 長	TEL 06-6411-4133
姫 路 事 務 所	福 井 副 所 長	TEL 079-289-3611
但 馬 支 所	大 原 次 長	TEL 0796-22-5171
淡 路 支 所	岩 川 次 長	TEL 0799-22-4493
西 脇 支 所	按 田 次 長	TEL 0795-22-6775
加 古 川 支 所	戸 田 副 所 長	TEL 079-424-1105

代位弁済後のご返済等に関する お客様総合相談窓口

管 理 部	杉 之 原 副 部 長 ※本所	TEL 078-393-3914
-------	--------------------	------------------

（上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます）

- **事業承継をお考えの皆さまへ**
事業承継相談窓口 TEL 078-393-3962
(経営支援部 支援推進課内)
- **女性企業家の皆さまへ**
女性企業家相談窓口 TEL 078-393-3910
(経営支援部 支援推進課内)
- **これから事業を開始する皆さまへ**
創業準備相談窓口 TEL 078-393-3912
(経営支援部 支援推進課内)
- **事業経営全般に関する相談について**
経営サポート相談窓口 TEL 078-393-3969
(経営支援部 支援推進課内)

保証時報の送付について

ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします（送料は当協会が負担）。ご希望の方は総務企画部企画調整課（TEL 078-393-3922）までお申し出ください。

当協会はサンテレビの情報番組「あんでなサン」の番組スポンサーをしています



あんでなサン（サンテレビ）
毎週日曜日22時～22時30分放送